

RBS

RITSUMEIKAN UNIVERSITY
BUSINESS
SCHOOL

立命館大学ビジネススクール
[大学院経営管理研究科]

挑戦と創造、その先へ。

多様な背景の人々が集い、異なる視点が交わる場は、
無限の可能性を秘めている。

ビジネスを創り出す原動力は、まさにそのような場から生まれる。
関西から世界へ。境界を越えた先には、まだ見ぬ自分が待っている。

立命館大学ビジネススクール ― 未来を切り拓くために。

挑戦と創造、
その先へ。

RBS
RITSUMEIKAN UNIVERSITY
BUSINESS
SCHOOL

立命館大学ビジネススクール（大学院経営管理研究科）

【お問い合わせ】

立命館大学 OIC 独立研究科事務室（経営管理研究科事務局）

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

TEL: 072-665-2101 FAX: 072-665-2109 E-mail: rbs-ras@st.ritsume.ac.jp



Guide 2027



創造と挑戦 ——キャリアを拓き、ビジネスと社会の未来を築く

——[ミッション・ステートメント]——

RBSは、グローバルな視野と地域への深い理解をもって、ビジネスと社会に新しい機会を発見し、価値を創造する責任あるリーダーを養成します。

RBS fosters responsible leaders who uncover new opportunities and create value for business and society with a global and local perspective.

現代のビジネスや社会が直面する課題は複雑であり、その解決には、世界の動きを的確に捉えるグローバルな視野と、地域的文脈への深い理解の双方が不可欠です。RBSは「グローバル」と「ローカル」を往還しながら、機会や課題を発見し、ビジネスと社会に新たな価値を生み出す人材の育成に取り組んでいます。

また、今日のリーダーには、成果や成長だけでなく、倫理性やサステナビリティを踏まえた意思決定が強く求められています。RBSでは、こうした要請を「責任あるリーダー（responsible leaders）」という言葉に集約し、教育の中核に据えています。

RBSは、経営修士（MBA）取得のための経営管理専攻とともに、観光経営修士（Tourism MBA）取得のための観光マネジメント専攻を設置しています。観光・ホスピタリティ産業は、ますますの成長が期待される一方で、人材の確保と育成、生産性向上や高付加価値化への取り組み、DX／AI時代への対応といった経営課題に加え、地域の自然や文化、景観といった固有の資源をいかに守り、活かしていくかが重要な課題となっています。これらの視点も、RBSのミッションに込められたメッセージです。

RBSは現在、国際認証の取得に向けた取り組みを進め、教育・研究の質を高めるとともに、国際的な通用性を一層高める新たなステージに立っています。これは、私たち自身が将来に向けて進化し続けるためのプロセスでもあります。自らのキャリアの新たな地平を切り拓こうとする高い志をもつ皆さんに、ぜひこの変革の歩みに加わっていただきたいと思います。

RBSには、多様なバックグラウンドをもつ学生が集まっています。多様な視点が交差することで、新しい発想やアイデアが生まれます。学びを通じて築かれたネットワークは、生涯にわたる財産となるでしょう。時期を逃さず、RBSの扉を開いてください。

RBSでの学びが、皆さん自身の成長と成功への、そしてビジネスと社会の未来を切り拓く大きな力となることを願っています。

立命館大学ビジネススクール
（大学院経営管理研究科）
研究科長

牧田 正裕



ビジネスを創造するリーダーを 育成する2つの専攻

新たな挑戦に向かうビジネスパーソンから、自分の可能性を広げたい学部卒業生まで。
経営管理と観光マネジメントの2つの専攻で、一人ひとりの目標に応じた段階的な学びを実現します。
理論と実践を重ねながら、新しい価値を創造する力を育みます。



RBSでの学びの特色

Feature 01

実務と理論の融合を通じ、
新たな価値を生む思考力を鍛える

教室には、経験豊富な実務家教員、理論に精通した研究者教員、そしてビジネスの最前線で活躍する院生や、これからキャリアを築こうとする院生が集います。それぞれが持ち寄る経験や問題意識を理論の枠組みで捉え直し、問い続け、言語化する。その繰り返しで、現場の課題を本質から捉え、解決に導く思考力を養います。

Feature 02

試行錯誤を歓迎する環境で、
思考を行動に変える力を身につける

培った思考力を試す場として、正解のないケース討議や、実際の企業課題に対する提案プロジェクトを用意しています。失敗から学ぶことを当然とする環境のもと、チームで議論し、成果を形にする経験を重ねることで、組織を動かす実行力と自分ならではのリーダーシップを磨きます。

Feature 03

多様な仲間との協働を通じ、
自身のキャリアを切り拓く

若手社員から経営層、キャリアの転換期にある方、新たにビジネスの世界へ踏み出す方まで、業種や世代を超えた多様な人材が集まります。教室内外でのフラットな対話は、自分一人では得られなかった視点や気づきをもたらし、ここで築いた信頼関係は、修了後も互いのキャリアを支え合う基盤となります。

[修了生が評価する RBS の学び (5.0 満点)] ※ 2025 年度秋学期修了時アンケートより。個々の経験はそれぞれの目標や状況により異なります。



経営管理専攻

Major in Management

ビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるために、「新しい何か」を創る創造性を磨きます。

マネジメントプログラム

- ビジネスパーソン対象
- 大阪梅田キャンパス開講

キャリア形成プログラム

- 学部卒業生(留学生含む)対象
- 大阪いばらきキャンパス開講

観光マネジメント専攻

Major in Tourism Management

観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけます。

観光事業マネジメントプログラム

- ビジネスパーソン対象
- 大阪梅田キャンパス開講(オンライン受講可)

観光事業キャリア形成プログラム

- 学部卒業生(留学生含む)対象
- 大阪いばらきキャンパス開講

[標準修業年限] 2年(在学年限最長4年)

[キャンパス別開講時間]

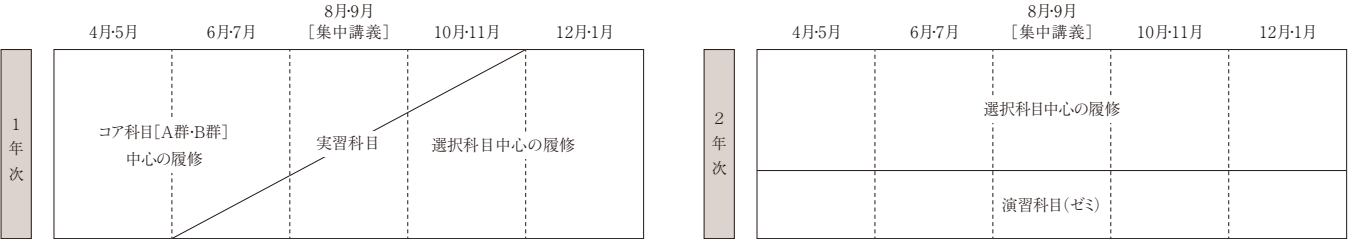
		1・2 限	3・4 限	5・6 限	6・7 限
大阪梅田キャンパス	平日	—	—	—	18:30～21:55
	土	9:10～12:35	13:35～17:00	18:00～21:25	—
	日	9:10～12:35	13:35～17:00	—	—
大阪いばらきキャンパス	平日	9:00～12:30	13:20～16:50	—	—

大阪梅田キャンパス 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル5階 (JR「大阪駅」から徒歩約5分)

大阪いばらきキャンパス 茨木市岩倉町2-150 (JR「茨木駅」から徒歩約5分)

アクセス案内
(大阪梅田キャンパス／
大阪いばらきキャンパス)

[クォーター制] 約2ヶ月7回の講義で1科目を履修します(200分×7回＝2単位)



マネジメントプログラム

Management Development Track

ビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるためのプログラムです。大学卒業後、勤続3年以上の方を対象としています。経営者や経営幹部を志向する方だけでなく、自分らしいキャリアを構築したい方や、起業を検討している方、あるいは第二創業、事業継承を検討している方も歓迎します。授業は大阪梅田キャンパスにて、平日夜間と土日に開講。また、仕事の関係等でキャンパスでの授業に直接参加できない場合には、全授業回数の半数を超えない範囲でオンライン受講も可能です。

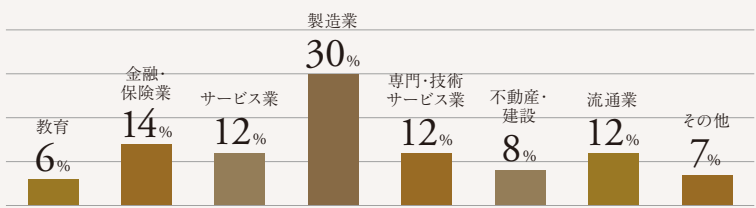


[在学生の年齢]



※小数点以下第1位を四捨五入しています。

[在学生の所属業界の割合]



※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

キャリア形成プログラム

Career Development Track

将来、ビジネスを創造するリーダーになるために必要とされる力量を向上させるプログラムです。主に大学卒業後、勤続3年未満の方を対象としています。経営を一から学ぶだけでなく、グループワークやプレゼンテーションを通じて、実践的な課題発見力や解決力、コミュニケーション力を磨きます。授業は原則として大阪いばらきキャンパスにて平日の昼間に開講。日本人学生と留学生がお互い異文化理解を深めながら切磋琢磨しています。また、ゼミやRBSビジネス創造リンケージの活動では、マネジメントプログラムの院生とも交流する機会があります。



[過去3年間の本プログラム修了生の主な就職先企業名]

- | | | |
|------------------|-------------------------|-------------------|
| ●アビームコンサルティング(株) | ●大和証券グループ | ●PwCコンサルティング合同会社 |
| ●(株)荏原製作所 | ●TDK(株) | ●(株)船井総合研究所 |
| ●KPMG中国 | ●(株)日本経営 | ●古河機械金属(株) |
| ●(株)シグマックス | ●日本システム技術(株) | ●(株)良品計画 |
| ●(株)セガ | ●日本タタ・コンサルタンシー・サービスズ(株) | ●(株)リンクアンドモチベーション |
| ●大日本印刷(株) | ●パナソニックインダストリー(株) | ●(株)ワークスアプリケーションズ |

(50音順)

在学生の声 | マネジメントプログラム

平日は詰め込まない。休日夜に集中する時間設計で、仕事・家庭・学業の三立へ。

Q. 入学の動機は？

M&A関連のファイナンス案件を複数リードする中で、これまでの実務経験をアカデミックな視点で深掘りしたいと強く感じたからです。財務と経営をより体系的かつ高度に学び直し、今後のキャリアに必要な知識基盤を確立したいと考えました。

Q. 仕事・家庭・学業をどう両立していますか？

「仕事・家庭・学業の三立(さんりつ)」を掲げ、共有カレンダーで家族と予定を調整しています。私のルールは、平日は無理に詰め込まず、睡眠を優先しながら、休日の夜に集中して学習時間を確保すること。朝は子どもとの時間を最優先にするメリハリをつけることで、心身の健康を保ちながら学びを継続できています。

Q. 修了後のビジョンは？

管理会計を軸に経営へ積極的に関与し、企業価値向上に貢献することです。課題研究を通じて身につけた実証分析の視点を実務に還元し、戦略策定と意思決定を論理的に支えるプロフェッショナルを目指します。

積水ハウス株式会社
財務部コーポレートファイナンスグループ マネージャー 八幡 一平 さん



在学生の声 | キャリア形成プログラム

火鍋店の起業で痛感した知識不足。事例とデータで、意思決定を鍛え直す。

Q. 飛び級制度で進学したきっかけは？

大学3年生で友人と火鍋店を起業した際、感覚だけに頼った経営判断に限界を感じ、自身の知識不足を痛感したことです。そんな折、RBSの公開講義で実践的な学びに触れ、基礎理論からビジネス創造、競争戦略までを体系的に学べることを知り、進学を決意しました。

Q. 学部での学びとの違いは？

理論の習得が中心だった学部での学びに対し、RBSではさらに事例分析やディスカッションを通じ、理論を「どう実務で使うか」を徹底的に考えます。起業経験と照らし合わせながら多角的に検証できるため、腹落ち感が違います。実務に直結する意義深い学びです。

Q. 将来の目標を教えてください。

火鍋店の運営や新規事業において、ここで学んだ経営理論やケーススタディを実務に結びつけ、感覚に頼らない確かな意思決定を行いたい。変化の激しい市場環境に対応しながら、事業の成長を実現できる人材を目指しています。

立命館大学経営学部出身／火鍋店起業家 LIU Hongting さん



コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	戦略ユニット	経営管理 特殊講義 マネジメント 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 戦略的意思決定 国際経営戦略			
		グローバルビジネスの実践 技術・オペレーションの マネジメント ICTビジネス戦略			
		組織ユニット			
		人的資源管理 キャリア開発 異文化マネジメント			
		コーチング コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		マーケティングユニット			
		マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング ブランドマネジメント			
		会計ファイナンスユニット			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	財務会計 管理会計 企業分析 コーポレートファイナンス	経営管理 特殊講義 マネジメント 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		M&A戦略 ストラクチャードファイナンス 投資戦略 ベンチャーファイナンス			
		ビジネス共通ユニット			
		国際政治経済 ビジネス法務 論理的思考と プレゼンテーション			
		Business Communication Business Negotiation			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネスユニット	経営管理 特殊講義 キャリア形成 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング 技術・オペレーションの マネジメント 異文化マネジメント コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析			
		コーポレートファイナンス M&A戦略と企業価値評価 投資戦略			
		キャリア形成共通ユニット			
		論理的思考と プレゼンテーション 国際政治経済 産業動態分析			
		日本の産業と企業 キャリア開発 Business Communication Business Negotiation			

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット	特殊講義		
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネスユニット	経営管理 特殊講義 キャリア形成 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング 技術・オペレーションの マネジメント 異文化マネジメント コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析			
		コーポレートファイナンス M&A戦略と企業価値評価 投資戦略			
		キャリア形成共通ユニット			
		論理的思考と プレゼンテーション 国際政治経済 産業動態分析			
		日本の産業と企業 キャリア開発 Business Communication Business Negotiation			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス ビジネス創造	国際経営 企業倫理とサステイナブル経営	ビジネスユニット	経営管理 特殊講義 キャリア形成 特殊講義	プロジェクト マネジメント 海外 フィールド ワーク	課題研究Ⅰ 課題研究Ⅱ
		ビジネスモデル構築 新規事業開発 マーケティングリサーチ 消費者行動 商品開発			
		デジタルマーケティング 技術・オペレーションの マネジメント 異文化マネジメント コーポレートガバナンス ファミリービジネス			
		会計ファイナンスユニット			
		財務会計 管理会計 企業分析			
		コーポレートファイナンス M&A戦略と企業価値評価 投資戦略			
		キャリア形成共通ユニット			
		論理的思考と プレゼンテーション 国際政治経済 産業動態分析			
		日本の産業と企業 キャリア開発 Business Communication Business Negotiation			

新規事業開発

企業が持続し成長していくためには、今ある既存事業を頑張るだけではなく、継続的に新規事業を作りだしていく必要があります。しかし、既存事業は「右手」に、新規事業は「左手」にたとえられるように、新規事業の進め方は既存事業の進め方とは異なり、いやむしろ正反対ともいえるところがあります。新規事業を進める方法は、新たに身につける必要があるのです。この授業では、イノベーションの理論を学び、新規事業を考えるための検討ステップやさまざまなツールを伝えるのと共に、受講者が自社または自分自身の新規事業のテーマを選び、実際に新規事業をつくる検討を模擬的に進めていきます。新たなビジネスを作り出す「左手」が使える人は、世間でも大いに求められています。この授業を通じて、新規事業を作り出す力を身につけ、またあなたのキャリアを拡大するチャンスを広げてください。



河瀬 誠 教授



課題研究

課題研究では自らの問題意識を深く掘り下げ、最終的に独自性のある提案や主張を行います。興味や熱意を形にする機会であると同時に、社会に新たな価値を生み出す機会でもあります。研究は1年に及ぶ長期的な取り組みで、時には困難を伴い、暗中模索をすることもあります。しかし、指導教員との度重なる面談、他のゼミ生とのディスカッションから、徐々に視界が開けていきます。このプロセスは、人生で二度とない貴重な経験となりえます。挑戦心を持って、自己の実現と価値の創造へ向けた旅路を楽しんでいただければと思います。それが、あなたのキャリアをさらなる高みへと導くことでしょう。



小菅 竜介 教授
副研究科長



過去の課題研究テーマ

- メーカーにおけるイノベーション成功の理由—成功者の分析と自社モデルでの検証
- 限られたリソースでブランド価値を創出する中小企業の戦略的アプローチ—中小企業へのブランド構築の実践ツールの提案
- 日本の中小企業における特定技能外国人雇用の失敗の本質—ダイバーシティ時代のHRMにおける戦略的意思決定と、経営者および登録支援機関の役割
- 難病のある方の就労状況とアンコンシャスバイアスの克服に関する研究
- 人的資本の流動性が低い環境下における副業のキャリア論的意義—「実存的不安」の解消とアイデンティティのポートフォリオ化
- 建設業の経営スタイルがPMIの心理的安全性に及ぼす影響
- 中小企業における成長メカニズムの考察～危機を乗り越え成長を加速させる戦略類型
- AIバーチャル配信者の感覚的言語表現が購買意欲に与える影響メカニズム—ライブコマースにおける言語期待と多感覚的体験の観点から



穴井 宏和 教授

〔専門分野〕アントレプレナーシップ、デジタルイノベーション、DX/AX (AI変革)
〔経歴〕ゴールドマン・サックス証券、J.P.モルガン証券の日本株シニアアナリストを経て現職



小菅 竜介 教授

〔専門分野〕マーケティング、サービスマネジメント
〔経歴〕東京大学博士(経済学)。ストックホルム商科大学リサーチフェロー等を経て現職。顧客経験について研究。



二階堂 忠春 教授

〔専門分野〕コーチング、キャリア開発、リーダーシップ、組織コミュニケーション
〔経歴〕一般社団法人 日本NLP能力開発協会 代表理事。南カリフォルニア大学経営学修士(MBA)、NLPマスタートレーナー。



増田 紀美子 教授

〔専門分野〕マーケティング、ブランドマネジメント、商品開発
〔経歴〕京都府立大学農学部卒業。コロナピア大学ビジネススクールMBA。宝酒造、P&G、LVMHグループを経て現職。



奥村 陽一 教授

〔専門分野〕会計学、企業分析
〔経歴〕立命館大学経営学部教授より経営管理研究科教授。学校法人立命館常務理事を経て、2025年より理事補佐。



田中 伸 教授

〔専門分野〕財務会計、財務管理、コーポレートガバナンス、医療経営
〔経歴〕京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了 博士(経済学)。



橋本 正明 教授

〔専門分野〕ファイナンス
〔経歴〕早稲田大学卒業後、山一證券、アーティス総研社長等を経て2015年フィナンシャル・ラボ設立。2017年より現職。



水野 由香里 教授

〔専門分野〕経営戦略、イノベーション
〔経歴〕東北大学博士(経営学)。中小企業庁 中小PMIガイドライン策定小委員会委員、中小企業政策審議会臨時委員、(独)中小企業基盤整備機構諮問会議委員、大阪府審議会委員などを歴任。



河瀬 誠 教授

〔専門分野〕イノベーション、ビジネスモデル
〔経歴〕東京大学卒業、ボストン大学理学修士・経営学修士、A.T.カーニー、ソフトバンク等を経て現職



谷口 学 教授

〔専門分野〕財務会計、管理会計
〔経歴〕公認会計士。太田昭和監査法人、三洋電機、(株)京都新聞ホールディングス常務取締役、損害保険ジャパン(株)顧問等。



前田 東岐 准教授

〔専門分野〕組織論、経営管理論
〔経歴〕1997年立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了。博士(経営学、立命館大学)。



村上 啓二 教授

〔専門分野〕ファイナンス、リスクマネジメント、企業価値評価、サプライチェーンマネジメント、経営戦略
〔経歴〕京都大学経営管理大学院博士後期課程修了。博士(経営科学)。三菱商事(株)、京都大学特定准教授を経て現職。



肥塚 浩 教授

〔専門分野〕経営戦略、介護経営
〔経歴〕1998年博士(経営学、立命館大学)、2017年度より経営管理研究科教授、現在学校法人立命館理事補佐



永田 稔 教授

〔専門分野〕人的資源管理、リーダーシップ、異文化マネジメント、キャリア開発
〔経歴〕一橋大学卒。米国UCLA MBA。松下電器、マッキンゼー、タワーズワトソンを経て、ヒトラボジェイビー代表。



牧田 正裕 教授

〔専門分野〕サービスマネジメント、観光まちづくり、組織とガバナンス、会計とコントロール
〔経歴〕立命館大学大学院経営学研究科博士後期課程中退、博士(経営学、立命館大学)。



山本 真司 教授

〔専門分野〕戦略コンサルティング、戦略経営、経営思想
〔経歴〕BCG、A.T.カーニー 戦略グループアジア太平洋代表、ペインアンドカンパニー東京代表パートナー。

客員教員

青木 淳

〔現職〕(株)淳風満帆代表取締役、(株)LIXIL 社外取締役、フィデアホールディングス(株)社外取締役、マッキンゼー・アンド・カンパニー・シニアアドバイザー
〔担当科目〕グローバルビジネスの実践

大島 一博

〔現職〕(株)国際社会経済研究所理事

岡本 薫明

〔現職〕日本たばこ産業(株)取締役会長、トヨタ自動車(株)社外取締役

桑津 浩太郎

〔現職〕桑津調査房代表、総務省情報通信審議会委員
〔担当科目〕ICTビジネス戦略

櫻田 謙悟

〔現職〕(公財)SOMPO美術財団理事、生活者共創Hub(同)櫻田謙悟事務所代表

嶋内 秀之

〔現職〕アンファク(株)
〔担当科目〕ビジネス創造

非常勤講師

池田 吉成

〔現職〕(医)和風会法人統括本部長、前(株)企業再生支援機構シニアディレクター
〔担当科目〕論理的思考とプレゼンテーション、医療経営

石井 真一

〔現職〕大阪公立大学大学院経営学研究科教授・大阪公立大学商学部教授
〔担当科目〕国際経営戦略、国際経営

伊藤 崇

〔現職〕MARL DESIGN STUDIO一級建築士&マーケティング事務所代表
〔担当科目〕デザイン思考

奥田 真也

〔現職〕名古屋市立大学大学院データサイエンス研究科
〔担当科目〕産業動態分析

木村 まさみ

〔現職〕関西学院大学教育学部非常勤講師、武庫川女子大学文学部英語グローバル学科非常勤講師
〔担当科目〕Business Communication

古村 公久

〔現職〕京都産業大学経営学部准教授、公認会計士古村公久事務所代表
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

杉浦 愛

〔現職〕大日本印刷(株)情報イノベーション事業部
〔担当科目〕消費者行動

竹田 宗雄

〔現職〕同志社大学グローバル・コミュニケーション学部嘱託講師
〔担当科目〕Business Communication

曽根 秀一

〔現職〕公立大学法人 静岡文化芸術大学 文化政策学部 教授
〔担当科目〕ファミリービジネス

巽 直樹

〔現職〕アクセンチュア(株) 素材・エネルギー本部マネジング・ディレクター
〔担当科目〕資源・エネルギービジネス

陳 世宗

〔現職〕(株)宏善代表取締役会長、(株)惠普独立取締役兼報酬委員および審計委員、犯罪矯正発展基金會理事、真善美基金會理事、立命館アジア太平洋大学客員教授、国立台北商業大学兼任副教授、国立台湾科技大学兼任副教授、日華協会台湾代表

中村 葉志生

〔現職〕(株)ハリーアンドカンパニー 代表取締役
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

益田 勝也

〔現職〕(株)野村総合研究所 プリンシパル、筑波大学特任教授
〔担当科目〕食農ビジネス開発

辻田 素子

〔現職〕龍谷大学 経済学部教授
〔担当科目〕ファミリービジネス

徳永 貴超

〔現職〕リタ・ユナイテッド(株) 代表取締役
〔担当科目〕デジタルマーケティング

中道 一心

〔現職〕同志社大学 商学部教授
〔担当科目〕日本の産業と企業

西岡 久充

〔現職〕龍谷大学 経営学部教授
〔担当科目〕統計・データ分析

西村 仁

〔現職〕ジン・コンサルティング代表 生産技術コンサルタント
〔担当科目〕技術・オペレーションのマネジメント

朴 修賢

〔現職〕追手門学院大学経営学部教授
〔担当科目〕デジタルマーケティング

橋本 良子

〔現職〕事業構想大学院大学 事業構想研究科 特任教授
〔担当科目〕ビジネス創造

服部 繁一

〔現職〕桃山学院大学 ビジネスデザイン学部 准教授
〔担当科目〕ビジネスモデル構築

光山 誠

※OIC 総合研究機構客員教授

〔現職〕公益社団全国老人保健施設協会理事、医療法人敬英会理事長、社会福祉法人敬英会福祉会理事、歯科医師
〔担当科目〕介護経営

南 和気

〔現職〕Wake Consulting 合同会社 代表
〔担当科目〕異文化マネジメント

山口 冬樹

〔現職〕Abies Ventures(株) 代表取締役マネージング・パートナー
〔担当科目〕ベンチャーファイナンス

若林 秀樹

〔現職〕熊本大学卓越教授、J-SIA 政策提言TF 座長、半デジ会議、NEDO 技術委員、(株)ブイ・テクノロジー、フルヤ金属の社外取締役
〔担当科目〕半導体・デジタル産業

東川 達三

〔現職〕弁理士法人新樹グローバル・アイビー、ジェネラル・マネージャー
〔担当科目〕Business Negotiation

廣田 章光

〔現職〕流通科学大学 特任教授・近畿大学デザイン・クリエイティブ研究所 顧問
〔担当科目〕マーケティング

藤川 健

〔現職〕龍谷大学 経済学部准教授
〔担当科目〕競争戦略

牧野 剛士

〔現職〕Makino Analytics Design LLC. 代表社員、Synthesy(株)ディレクター
〔担当科目〕統計・データ分析、論理的思考とプレゼンテーション

松本 雄一

〔現職〕関西学院大学 商学部教授
〔担当科目〕実践共同体による人材育成

水野 成容

〔現職〕立命館大学 OIC 総合研究機構 客員研究員(合同会社サイエンスセンターインターナショナル 代表社員)
〔担当科目〕新規事業開発

三輪 淳之

〔現職〕大阪国際大学 経営経済学部 教授
〔担当科目〕ビジネス法務

山川 茂孝

〔現職〕(株)ヤマックスラボ代表取締役
〔担当科目〕マーケティングリサーチ

観光マネジメント専攻

Major in Tourism Management

観光事業マネジメントプログラム

Tourism Management Development Track

ビジネスや経営に関する知識とともに、観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーとして求められる能力を身につけるためのプログラムです。宿泊業等の観光産業の企業・団体における経営者や幹部候補の方、観光産業で新しいキャリアを築きたい方、あるいは観光産業で起業を目指している方も歓迎します。授業は大阪梅田キャンパスにて、平日夜間と土日に開講。講義科目についてはオンライン同時配信を全面的に実施します。これにより、全国どこからでも授業に参加でき、全国各地の同じ志をもつ人たちとのネットワークも築けます。

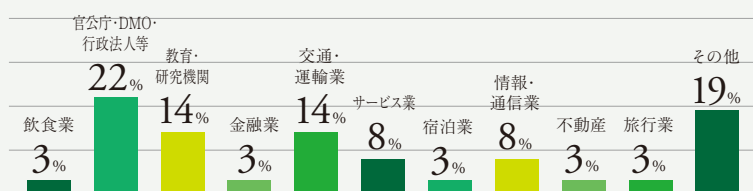


[在学生の年齢]

20代	30代	40代	50代	60代
3%	14%	34%	40%	9%

※小数点以下第1位を四捨五入しています。

[在学生の所属業界の割合]



観光事業キャリア形成プログラム

Tourism Career Development Track

ビジネスや経営に関する知識とともに、将来、観光産業の企業・団体等でビジネスを創造するリーダーになるために必要とされる能力を向上させるためのプログラムです。宿泊業等の観光産業の企業・団体におけるキャリアを築きたい方のほか、観光産業で起業を目指している方も歓迎します。授業は原則として大阪いばらきキャンパスにて平日昼間に開講。一部の特殊講義科目は、主に平日夜間や土日に大阪梅田キャンパスで、観光事業マネジメントプログラムの院生と一緒に授業を受けることができ、多くの刺激が得られます。フィールドワークなど、観光事業の現場で課題発見力や解決力を磨くための機会も豊富です。



[想定される進路]

- ホテル・旅館・リゾート施設等における接客、運営、企画等の業務
- 旅行会社や観光関連企業における旅行商品・観光サービスの企画、営業等の業務
- 鉄道・航空・観光施設等におけるサービス運営、広報等の業務
- DMO、観光協会、自治体、地域振興団体等における観光振興、地域活性化等の業務
- 企業や公的機関におけるマーケティング、企画、調査等の業務



在学生の声 | 観光事業マネジメントプログラム

拡大フェーズの経営こそ、理論で磨く。フレームワークで経営判断を強くする。

Q. なぜ今、RBSへ？

事業が拡大フェーズに入り、従来の「勘と経験」だけの経営から、理論に裏打ちされた意思決定へと進化させる必要性を強く感じたからです。実務と理論を結びつけて学べる点が、母校でもある立命館大学のRBSを選んだ決め手でした。

Q. 多忙の中で学び続ける工夫は？

基本は対面受講ですが、急な出張や現場対応時はオンライン受講を活用しています。場所を選ばず受講できるこの「ハイフレックス形式」の柔軟性は、移動や不規則性の多い観光業には非常に助かります。平日は夜間、休日は家族と相談して時間を確保し、バランスを保っています。

Q. 学びをどう活かしていますか？

習得した理論やフレームワークは日々の経営判断において、思考の整理や論理構成を支えてくれています。また、多様なバックグラウンドを持つ学友とのネットワークは、今後の事業成長においてかけがえのない財産になると確信しています。

ジャパンフードエンターテインメント株式会社 代表取締役(飲食・体験観光事業 経営者) 宮澤 心 さん



在学生の声 | 観光事業キャリア形成プログラム

観光客の体験を、研究者の視点で分析する。フィールドワークで掴んだ気づき。

Q. 日本のRBSを選んだ理由は？

上海の大学でも観光学を専攻していましたが、観光立国として独自の発展を遂げる日本の産業構造や、他国との違いをより深く体系的に学びたいと考え、日本のRBSへの留学を決めました。

Q. 最も印象に残っている授業は？

タイでのフィールドワークです。現地で「観光客」としてサービスを体験する一方、「リサーチャー」の目でその背景にある仕組みを分析する。この二つの立場を行き来したことで、タイの観光産業を多面的に捉えられるようになりました。

Q. 今後のキャリアビジョンは？

観光の専門知識に加え、RBSで習得した高度な経営戦略や企画力を活かし、企業の戦略企画職に就きたいです。データと実体験に基づき、グローバルな視点から新しい価値を創出できるプロフェッショナルとして活躍していきたいと考えています。

上海師範大学 観光学部出身 XU Jingxi さん



[観光事業マネジメントプログラム開講科目一覧]

※2026年度のものです。

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)	
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット				特殊講義
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス サービス イノベーション	国際経営 企業倫理と サステイナブル 経営 ビジネス創造 リーダーシップ ビジネス エコノミクス 統計・データ分析	観光企業経営ユニット		観光事業 特殊講義 観光事業 マネジメント 特殊講義	インターン シップ フィールド ワーク	リサーチ プロジェクト I リサーチ プロジェクト II
		ホスピタリティマネジメント サービスと ホスピタリティのデザイン 観光企業の市場創造	ホテル・リゾート企業の マネジメント 旅館経営 MICE 企業経営戦略			
		観光事業ユニット				
		ディスティネーション マネジメント 観光地ブランディング MICE施設のマネジメント	MICEマーケティング イベントプランニング リゾート& エンターテインメントビジネス			
		観光産業・観光ユニット				
		観光産業イノベーション 観光産業における 情報・デジタル技術 観光産業における リスクマネジメント 交通ビジネス	観光産業政策 サステイナブルツーリズム ヘリテージツーリズム			
		経営管理ユニット				
		人的資源管理 マーケティングリサーチ 企業財務 管理会計	ファミリービジネス Business Communication Business Negotiation			

[観光事業キャリア形成プログラム開講科目一覧]

※2026年度のものです。

コア科目 (18単位以上)		選択科目 (特殊講義を除く科目から18単位以上)		実習科目	演習科目 (必修4単位)		
A群(必修12単位)	B群(6単位以上)	ユニット		特殊講義			
競争戦略 組織行動 マーケティング アカウンティング ファイナンス サービス イノベーション	国際経営 企業倫理と サステイナブル 経営 ビジネス創造 リーダーシップ ビジネス エコノミクス 統計・データ分析	観光企業経営ユニット		観光事業 特殊講義 観光事業 キャリア形成 特殊講義	インターン シップ フィールド ワーク	リサーチ プロジェクト I リサーチ プロジェクト II	
		ホスピタリティマネジメント サービスと ホスピタリティのデザイン 観光企業の市場創造					ホテル・リゾート企業の マネジメント 旅館経営
		観光事業ユニット					
		ディステイネーション マネジメント 観光地ブランディング	リゾート＆ エンターテインメントビジネス MICEマネジメント インバウンドマーケティング				
		観光産業・観光ユニット					
		観光産業イノベーション 観光産業における 情報・デジタル技術 観光産業における リスクマネジメント	交通ビジネス 観光産業政策 観光まちづくり				
		経営管理ユニット					
		人的資源管理 マーケティングリサーチ 企業分析	Business Communication Business Negotiation				

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

ディスティネーションマネジメント

この講義では、観光地（ディスティネーション）の持続的な発展の基盤となる「ディスティネーションマネジメント」の基本概念とその全体像を理解することをめざします。講義では、観光地マネジメント組織（DMO）の役割や課題、ディスティネーション・マーケティング、ステークホルダーとの連携、サステナビリティなど、ディスティネーションマネジメントを実践する上で重要な観点について、国内外の研究や事例を通じて検討し、求められる知識と考え方を身につけていきます。



永井 隼人 准教授

RBSの学び | 観光マネジメント専攻

フィールドワーク

国内外の観光地や観光関連事業者を訪れ、現場に即して学ぶ科目です。現地調査やインタビューなどを通じて課題を発見し、その背景を多面的に捉えながら、対応の方向性を考察する力を養います。



RBSの学び | 観光マネジメント専攻

リサーチプロジェクト

リサーチプロジェクトは、院生一人ひとりが自らの問題意識を出発点に研究テーマを設定し、研究計画の立案から調査・分析・考察までを主体的に進め、研究成果をリサーチペーパーとしてまとめる科目です。観光産業における特定の企業・団体や観光地が直面する課題を対象とした解決策や新規事業計画の提示に取り組むほか、観光産業や観光地に共通する課題について先行事例の分析を通じて知見を提示する研究や、学術的な視点から諸課題を検討する研究など、関心や目的に応じたアプローチを選択することができます。指導教員や院生同士のディスカッション、文献講読、プレゼンテーション、現地調査を通じて、分析の視点や考察の深さを段階的に高めていきます。こうした学びの積み重ねが、観光産業で求められる実践的な思考力と構想力を育て、将来のキャリアへとつながっていきます。

過去の
リサーチ
プロジェクトの
研究テーマ

- 体験型教育旅行の収益性―神戸市農村地域での事業展開を目指した提言に向けて―
- ホテル総支配人に求められる異文化マネジメント能力とその育成
- ステークホルダー構造から読み解く観光地経営について―DMOは誰と価値を作るのか―
- ファミリービジネス「旅館」の研究―旅館の事業承継を成功させるには、何をすべきか。―
- 旅行会社における人的資源マネジメントの課題と展望―管理職の行動的HRMにみる育成の実態―
- 観光資源としての都市公園―都市公園の利用促進による人流の創出と消費喚起の可能性―



大島 知典 准教授



石崎 祥之 教授

〔専門分野〕観光マーケティング、宿泊経営

〔経歴〕国際連合地域開発センター研究員を経て、1995年本学経営学部に着任、2024年度より観光マネジメント専攻長。



西本 恵子 教授

〔専門分野〕MICE、デスティネーションマネジメント・マーケティング

〔経歴〕MICE実務経験20年。MICEプランナー国際認証や観光地サステナビリティ評価を担当。京都大学博士（経営科学）。



森本 大 教授

〔専門分野〕経営戦略、ビジネス創造

〔経歴〕ベンチャー創業、国内外企業の経営を経て、現在、プライベートエクイティの投資先企業を経営。ハーバードMBA。



吉岡 郁栄 教授

〔専門分野〕市場分析、企業分析、経営戦略

〔経歴〕自社分析、市場調査・競合調査に基づいた事業計画策定、戦略策定を専門とする。



大島 知典 准教授

〔専門分野〕サービスマネジメント、観光マーケティング

〔経歴〕立命館大学大学院経営学研究科企業経営専攻博士後期課程修了、博士（経営学）。



樋口 知比呂 教授

〔専門分野〕組織行動、リーダーシップ、人的資源管理、キャリア開発

〔経歴〕FWD生命執行役員兼CHRO。早稲田大学政治経済学部卒、米カリフォルニア州立大学MBA、立命館大学博士（人間科学）。



山田 政弘 教授

〔専門分野〕観光マーケティング、ファミリービジネス、経営戦略、事業再生、M&A、PE投資、アクティビスト対応、DX・IT

〔経歴〕ジェミニ ストラテジー グループ（株）代表取締役 CEO、（株）ダイドーミテッド代表取締役会長グループCEO。



重谷 陽一 教授

〔専門分野〕競争戦略、エアラインマネジメント、交通経営、異文化マネジメント

〔経歴〕伊藤忠商事、ANA、静岡産大教授、阪南大准教授を経て現職。関西学院大経営戦略研究科 PhD、ランカスター大 MBA。



三木 健治 教授

〔専門分野〕観光政策、観光まちづくり

〔経歴〕（株）地域計画建築研究所 取締役副社長、（株）地域経済研究所 代表取締役、鹿児島大学大学院工学研究科建築学専攻修了 工学修士



山田 雄一 教授

〔専門分野〕観光政策、観光地マネジメント、観光地ブランディング

〔経歴〕建設会社の不動産活用担当を経て、公益財団法人日本交通公社にて研究員。現在、同理事・観光研究部長



永井 隼人 准教授

〔専門分野〕旅行者行動、観光マーケティング、デスティネーション・マネジメント

〔経歴〕クイーンズランド大学ビジネススクール博士課程修了。和歌山大学観光学部准教授等を経て2024年4月より現職。



宮口 直人 教授

〔専門分野〕旅館経営、財務会計、管理会計、観光マーケティング

〔経歴〕（株）ビズユナイテッド 代表取締役、（株）JTB総合研究所 客員研究員、経営学修士（会計学専攻）。



横山 健一郎 教授

〔専門分野〕ホテル・リゾート企業のマネジメント

〔経歴〕国内外ハイアット要職歴任、京都市観光協会アドバイザー・京都府参与、現 Weft 代表取締役

客員教員

梅原 真
〔現職〕梅原デザイン事務所 代表取締役・デザイナー

金井 良宮
〔現職〕（株）御湯所 ブランドディレクター、（株）無沓庵 宗家 ディレクター
〔担当科目〕ラグジュアリーブランディング

クリスティ ポール
〔現職〕Walk Japan Ltd. CEO、The Japan Travel Company（株）取締役会長、Ota Estates（株）代表取締役

澤田 純
〔現職〕NTT（株）取締役会長

澤田 充
〔現職〕（株）ケイオス 代表取締役CEO

沢柳 知彦
〔現職〕（株）ブレインピックス 代表取締役
〔担当科目〕ホテルインベストメント

非常勤講師

和泉 大樹
〔現職〕阪南大学国際学部国際観光学科教授
〔担当科目〕アートツーリズム

小川原 桜子
〔現職〕メットライフ生命保険（株） マーケティング部門 イベントマネジメントチーム チーム長
〔担当科目〕イベントプランニング

栢木 紀哉
〔現職〕龍谷大学経営学部経営学科教授
〔担当科目〕統計・データ分析

木村 まさみ
〔現職〕関西学院大学教育学部非常勤講師、武庫川女子大学文学部英語グローバル学科非常勤講師
〔担当科目〕Business Communication

高森 桃太郎
〔現職〕関西学院大学商学部准教授
〔担当科目〕Business Negotiation

竹田 宗継
〔現職〕同志社大学グローバル・コミュニケーション学部嘱託講師
〔担当科目〕Business Communication

他力野 淳
〔現職〕バリューマネジメント（株） 代表取締役

中村 葉志生
〔現職〕（株）ハリアンドカンパニー 代表取締役
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

原 忠之
〔現職〕Associate Professor (Tenured), Rosen College of Hospitality Management, University of Central Florida

別所 哲也
〔現職〕俳優、（株）パシフィックボイス代表取締役、（株）ビジュアルボイス代表取締役、ショートショートフィルムフェスティバル＆アジア代表

丸岡 直樹
〔現職〕文化庁文化観光推進コーディネーター、バリューマネジメント（株）GM、（一社）INAHOIRO 代表理事
〔担当科目〕ヘリテージツーリズム

丸田 健太郎
〔現職〕KPMG 有限責任 あずさ監査法人 専務理事
〔担当科目〕レスポンスブルゲーミング

藻谷 浩介
〔現職〕日本総合研究所 調査部主席研究員、日本政策投資銀行 地域調査部特任顧問
〔担当科目〕サステイナブルツーリズム

本橋 潤子
〔現職〕名古屋商科大学大学院教授、慶應義塾大学商学部講師（非常勤）
〔担当科目〕企業倫理とサステイナブル経営

森 清顕
〔現職〕北法相宗事務長 清水寺執事・教学部長 清水寺学峯長 泰産寺住職

森口 巳都留
〔現職〕（株）MICE ジャパン 代表取締役 月刊「MICE Japan」発行・編集人
〔担当科目〕MICE 施設のマネジメント

原 一樹
〔現職〕京都外国語大学国際貢献学部グローバル観光学科教授
〔担当科目〕コンテンツと観光ビジネス

西田 和倫
〔現職〕西田公認会計士事務所代表
〔担当科目〕アカウンティング

西原 和彦
〔現職〕弁護士法人 本町国際総合法律事務所 代表パートナー
〔担当科目〕Business Negotiation

西村 典芳
〔現職〕流通科学大学人間社会学部観光学科教授 学部長、日本観光経営学会会長
〔担当科目〕ウェルネスと観光ビジネス

橋本 良子
〔現職〕事業構想大学院大学 事業構想研究科 特任教授
〔担当科目〕ビジネス創造

畠山 俊宏
〔現職〕龍谷大学経済学部国際経済学科准教授
〔担当科目〕国際経営

人材育成目的と3つのポリシー

本研究科の人材育成目的、学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)、教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)、入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)は、本研究科ホームページに掲載しています。

➡ <https://www.ritsumeai.ac.jp/mba/introduce/mission/>

入学試験の概要 (2027年4月入学)

詳細は必ず「入学試験要項」にてご確認ください。「立命館大学大学院 入試情報サイト」の「入試情報」のページでご確認いただけます。



- 入学定員…経営管理専攻 80名(マネジメントプログラム40名、キャリア形成プログラム40名)
観光マネジメント専攻 70名(観光事業マネジメントプログラム40名、観光事業キャリア形成プログラム30名)

入学試験日程	出願期間	試験日	合格発表日
9月実施入学試験	2026年7月16日(木)～7月30日(木)	9月19日(土)、20日(日)	10月8日(木)
11月実施入学試験	2026年10月8日(木)～10月22日(木)	11月14日(土)、15日(日)	12月3日(木)
2月実施入学試験	2027年1月7日(木)～1月21日(木)	2月13日(土)、14日(日)	2月25日(木)

※試験日は入試方式ごとに異なります。詳細は入試要項で確認してください。

対象	入試方式 ^(※2)	募集プログラム	9月実施	11月実施	2月実施
社会人の方 ^(※1) を 対象とした入学試験方式	社会人入学試験(一般)	マネジメントプログラム 観光事業マネジメントプログラム	○	○	○
	社会人入学試験 (企業等推薦型・自己推薦型)		○	○	○
大学を卒業見込みおよび卒業後に 大学院に進学する方を対象とした入学試験方式	一般入学試験	キャリア形成プログラム 観光事業キャリア形成プログラム	○	○	○
	外国人留学生入学試験(RJ方式)		○	○	—
立命館大学およびAPUに在学中の方を 対象とした入学試験方式	学内進学入学試験		○	○	○
	APU特別受入入学試験		○	○	—
	飛び級入学試験		○	○	—

※1 本研究科入学時点で企業・行政等の組織における3年以上の職業経験(NPO活動なども含む)を有している方(詳細は入学試験要項で確認してください)。

※2 選考方法：書類選考、筆記試験(論述試験)、面接試験。ただし、一般入学試験・外国人留学生入学試験(RJ方式)以外の入試方式では筆記試験を免除します。

科目等履修生制度 「MBA科目を1科目から受講できます」

ビジネスに関する基礎的素養をもとめる方や、戦略、人事、マーケティング、財務、M&Aなど、特定課題で実践力をもとめる方に、お勧めです。

- 科目等履修生制度とは、科目等履修生として科目を履修し、所定の要件を満たすと単位を修得できる制度です。
- 修得した単位については、正規課程入学後に20単位を限度として認定することがあります。ただし、入学時に該当科目が廃止されている場合は、単位認定できないことがあります。
- 1科目につき週1回200分×7週間(約2ヶ月)で構成され、平日・夜間(18:30-21:55)、土曜・日曜の開講につき、勤務などの都合に合わせた科目選択が可能です。
- 出願資格や履修科目の詳細は「2026年度 経営管理研究科 科目等履修生出願手続要項」を確認してください。

1単位につき **¥23,900**

(1科目は2単位相当です。1科目¥47,800とご理解ください)

登録料：¥46,000
(但し、本学卒業生・修了生など：¥28,000)
登録料は、初回のみ(同一年度内の追加時不要)。

※2026年度実績

学費

参考：2026年度学費〔標準修業年限〕^{※1}

	1年次	2年次	合計
入学金	200,000円 ^{※2}	—	200,000円
授業料	1,390,400円 (春学期 695,200円+秋学期 695,200円)	1,390,400円 (春学期 695,200円+秋学期 695,200円)	2,780,800円
計	1,590,400円	1,390,400円	2,980,800円

※1 長期履修制度または早期修了制度を利用した場合の学費額については、経営管理研究科事務局までお問い合わせください。

※2 立命館大学または立命館アジア太平洋大学の学部を卒業した者が本学大学院に入学する場合などは、入学金を徴収いたしません。対象に関する詳細は経営管理研究科ホームページをご確認ください。

奨学金制度

本研究科では、社会人学生を対象とした奨学金制度(立命館大学専門職大学院経営管理研究科奨励奨学金)を設けています。

[奨学金制度概要]

名称	募集対象	金額	給付人数	選考方法・時期
立命館大学専門職大学院 経営管理研究科奨励奨学金	経営管理研究科が実施する社会人入学試験 (一般、企業等推薦型・自己推薦型)の 成績上位者	《給付》 100,000円(学期) ※2年間(4学期)給付	最大40名	入学試験の成績上位者から 採用内定者を選出し、 合格発表時に本人に通知

※「長期履修制度の申請者」、および「国費留学生制度またはこれに類する制度により資金を得て入学を予定している者」は、この奨学金の対象とはなりません。

専門実践教育訓練給付金

〔経営管理専攻マネジメントプログラム〕

観光マネジメント専攻の観光事業マネジメントプログラムは対象講座ではありません。

経営管理研究科経営管理専攻マネジメントプログラムは「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座として指定されています。専門実践教育訓練給付制度とは、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)や離職者が、厚生労働大臣の指定する専門実践教育訓練を受講し修了した場合、教育訓練施設に支払った授業料等の一部(最大128万円)を、本人に対して給付金として支給する制度です。専門実践教育訓練給付金の受給には、一定の要件を満たす必要があります。詳細については本研究科ホームページを確認の上でお近くのハローワークにお問い合わせください。

※2026年度以降については再指定申請予定。詳細はホームページでお知らせします。

一般教育訓練給付金

〔観光マネジメント専攻観光事業マネジメントプログラム〕

経営管理研究科観光マネジメント専攻観光事業マネジメントプログラムは、「一般教育訓練給付制度」の対象講座に指定されています。一般教育訓練給付制度とは、厚生労働省が働く人の主体的な能力開発の取組みを支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者(在職者)または被保険者であった方(離職者)は、本人自らが教育訓練施設に支払った教育訓練経費の20%に相当する額(上限10万円)がハローワーク(公共職業安定所)から支給されます。修了日の翌日から起算して1か月以内に、所管のハローワークで申請手続きをおこなっていただくことにより10万円支給されます。

※2027年度以降については再指定申請予定。詳細はホームページでお知らせします。

履修証明プログラム

大学等における正規の学位プログラムの他に、社会人等の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)により、その修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付するものです。修了までには総時間数として、60時間以上が必要となります。

- Agriculture Management Program (AMP)
本研究科では、(株)農林中金アカデミーの寄附講座として農林水産業分野の経営人材育成を通じて地域社会の発展に資することを目的として、「Agriculture Management Program」(AMP)を開設しています。
- 観光マネジメント履修証明プログラム
本研究科では、観光分野の教育の充実に向けて取り組んでいます。その一環として、「観光マネジメント履修証明プログラム」を開設しています。

教育課程連携協議会

専門職大学院設置基準により、教育課程連携協議会を設置しています。人材育成に高い見識をお持ちの各位から、教育課程の編成や実施、授業科目の開発や実施に関して、意見や指摘をいただき、次回の協議会において進捗に対して評価いただいています。

会 長：株式会社安藤佳則事務所 代表取締役社長 安藤 佳則 氏
委 員：鶴雅ホールディングス 代表取締役社長 大西 雅之 氏
NISSHA株式会社 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木 順也 氏
学校法人大和学園 理事長 田中 誠二 氏
株式会社ボードアドバイザーズ 代表取締役社長 佃 秀昭 氏
CVCキャピタルパートナーズ日本法人 最高顧問 藤森 義明 氏
公益財団法人日本交通公社 会長 小林 高広 氏
立命館大学校友会 副会長 森川 典子 氏
立命館大学 副学長 野口 義文 氏

※2026年1月開催時